

## 令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- (中)・様々な資料を提示し、社会的な事象について、因果関係や人々の思いについて思考する場を設定して指導したことにより、児童が社会的な事象に興味関心をもって主体的に活動に取り組むことができた。
- (高)・体験的な学習の場を多く設定し、どんなことを学んだか振り返りができるよう指導したことで、様々なものに触れ、そこに关わる人々の思いについて実際に見たり、聞いたりすることで、考えを深められるようになった。

#### (2) 課題

- (中)・簡単な地図などから情報を読み取ることは出来るが、必要な情報をまとめる力は十分ではない。情報を集め、それらの情報から違いや傾向を考えるよう、指導する必要がある。
- (高)・資料等を読み取り、自分の考えをまとめる力が十分ではない。自分の考えをもって授業に取り組むことが課題である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率 (経年比較)

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率が目標値や区の平均値を下回っていることが多い。</li> <li>・領域別では、区の平均に対して「生産や販売」「地域や市の様子」「安全を守る働き」が弱い。</li> <li>・観点別では、「知識・技能」の正答率が低い。</li> </ul>	/	/
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率が目標値や区の平均値を3～7ポイント下回っている。</li> <li>・領域別では区の平均に対して「生活環境を支える活動」「伝統や文化、先人の働き」「特色ある地域の様子」が弱い。</li> <li>・観点別では、「社会的な思考・判断・表現」の正答率が特に低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率が目標値や区の平均値を2～5ポイント下回っている。</li> <li>・領域別では区の平均に対して「地域や市の様子」「生産や販売」が弱い。</li> <li>・観点別では、「社会的な思考・判断・表現」「観察・資料の活用」の正答率が特に低い。(第4学年時)</li> </ul>	/
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度よりは3ポイントほど改善されているが、正答率は目標値を10ポイントほど下回っている。</li> <li>・領域別正答率では、前年度より10ポイント改善されているが、「国土の自然環境と国民生活」について目標値から11ポイントほど低い結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率が目標値や区の平均正答率を7～8ポイント下回っている。</li> <li>・領域別正答率では特に「都道府県の様子」「特色ある地域の様子」が低い。</li> <li>・観点別正答率では、「主体的に学習に取り組む態度」が低い。(第5学年時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の平均正答率は、目標値に達していないが、地図記号は、全国正答率を上回っている。</li> <li>・特に「くらしの移り変わり」と「店ではたらく人」と「安全な暮らし」の記述問題は正答率が低く、苦手である。(第4学年時)</li> </ul>

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して、考えたことをまとめることができている。</li> <li>・地図や資料を読み取り、必要な情報を調べることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して疑問に思ったことや、分かったことを自分の言葉で表現することができる。</li> <li>・地図や資料から必要な情報を読み取り、それらを基に調べて分かったことをまとめることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが住んでいる町について主体的に調べることができる。</li> <li>・社会的事象について、自分の生活と結び付けて考えることに課題がある。</li> </ul>

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語の理解や知識が定着していないことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識をもって、地図や資料から必要な情報を読み取る力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料等を読み取り、自分の考えをまとめる力が十分ではない。自分の考えをもって授業に取り組むことが課題である。</li> </ul>

3 授業改善のポイント (観点別) 【◎は重点項目】

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎町探検や模擬体験などを取り入れ、体験活動を通して情報を集めることができるようにする。</li> <li>◎博物館や学校図書、コンピュータなどを活用して映像、体験記など様々な情報を集めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資料を積極的に活用し、必要な情報を読み取る時間を多く設けていく。</li> <li>・地図や資料を活用することのよさを伝え、相手に伝わるまとめ方ができるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのお店や、公共施設などを取り上げ、児童にとって社会的事象を身近に感じられる指導をする。</li> <li>・学習の見通しをもって学習に取り組めるように、ねらいを明確にする。</li> </ul>

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎都道府県の名称と位置について、プレートなど着実に定着させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業では適宜地図帳やグラフ等を使用した問題に取り組む活動を行いながら、地図や資料に習熟する指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや本などの資料から自分で目的意識を持って調べ学習を行い、お互いに発表し合う機会をつくる。</li> </ul>